



清らかな流れ

平成20年度河川水質調査の結果について

(公表の根拠：八百津町生活排水処理基本計画)

平成20年度河川水質調査の結果についてお知らせします。

調査は、町内の公共河川16箇所を定点として、毎年5月と11月の2回実施しています。

八百津町内の公共河川の環境基準は、「公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定」で木曽川中流のA類型に該当します。

水	域	類 型
木曽川中流(落合ダムから犬山頭首工まで)		A

調査地点ごとの水域類型は、調査結果から次のとおり分類されました。

動向の記号説明 ↑：改善 →：横ばい ↓：悪化

河 川 名	調 査 箇 所	H20	H19	動向	備 考
荒 川	五宝滝駐車場前 頭首工	A	A	→	大腸菌濃度が低くなればAA類型に改善される。
南 宮 川	東 橋 下 流 側		C	↑	大腸菌濃度が低くなった事でA類型になった。
長 曾 川	追 分 橋 下 流 約10m		A	→	大腸菌濃度が低くなればAA類型に改善される。
旅 足 川	水 遊 び 場 下 流 約10m		A	→	
荒 川	荒川橋歩道橋上流側	B	B	→	生活排水の混入により大腸菌濃度が高くなったと思われる。
油皆洞川	油皆洞橋歩道橋下流側		B	→	大腸菌濃度が低くなれば、AA類型に改善される。
仙 沢 川	東 部 農 村 セ ン タ ー 下 農 道 橋 上 流 側		B	→	
辛 沢 川	稲 荷 前 橋 梁 下 流 側		A	↓	大腸菌濃度が前年度より高くなっている。
飯 田 川	中屋敷水管橋上流側		B	→	BOD濃度が改善されて前年度より低くなっている。
天 王 川	天 王 橋(和) 下 流 側		B	→	
石 川	石 川 橋 下 流 側		B	→	大腸菌濃度が高くなった事によりB類型になった。
下 田 川	下 田 農 道 橋 下 流 側		A	↓	
祝 谷	薄 野 水 門		B	→	BOD濃度が改善されて前年度より低くなっている。
名場居川	篠原農道橋下流側		B	→	大腸菌濃度が低くなれば、AA類型に改善される。
天 王 川	大 洞 川 合 流 部(伊) 橋 梁 下 流 側	C	A	↓	BOD濃度と大腸菌濃度が高くなっている。
中 山 川	公 民 館 前 水 門 下 流 側	D	D	→	植物性プランクトン(アオコ)等の繁殖により、水質のpH値が高くなっている。(pH=8.9)大腸菌濃度も前年度より高くなっている。

(まとめ)

※AA類型の河川水域はありませんでした。

生活排水等からの大腸菌が河川の大腸菌濃度を高めています。大腸菌濃度が低くなる事でAA類型になる河川は13調査地点あります。

※A類型の河川水域は、4調査地点でした。

昨年度が6調査地点でしたので2調査地点少なくなっています。調査地点の南宮川(東橋下流側)ではC類型がA類型に改善されました。

※B類型の河川水域は、10調査地点でした。

調査地点辛沢川(稻荷前橋梁下流側)と下田川(下田農道橋下流側)は、A類型からB類型に悪くなりました。

※C類型の河川水域は、天王川(大洞川合流点(伊)橋梁下流側)の1調査地点になっています。BODと大腸菌

を除けば、AA類型になります。

生活排水により、大腸菌濃度が高くなりC類型になっています。

※D類型の河川水域は、中山川(公民館前水門下流側)の1調査地点でした。

要因は、水質のpH値が異常に高くなったことによるものです。

生活排水中の窒素、リンの濃度が高くなると、植物性プランクトンが異常に繁殖します。

植物性のプランクトンの光合作用により、水中の炭酸を消費することで水質がアルカリ性になり、pH値が高くなります。